大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國115及114年第3季

地址：台中市大甲區幼獅工業區幼獅路69號

電話：(04)26811123

§目　　錄§

項　　目	頁　　次	財務報告附註編號
一、封　　面	1	-
二、目　　錄	2	-
三、會計師核閱報告	3～4	-
四、合併資產負債表	5	-
五、合併綜合損益表	6～7	-
六、合併權益變動表	8	-
七、合併現金流量表	9～10	-
八、合併財務報告附註		
(一) 公司沿革	11	一
(二) 通過財務報告之日期及程序	11	二
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	11～14	三
(四) 重大會計政策之彙總說明	14～17	四
(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	17	五
(六) 重要會計項目之說明	17～41	六～二八
(七) 關係人交易	42	二九
(八) 質抵押之資產	43	三十
(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	43	三一
(十) 重大之災害損失	-	-
(十一) 重大之期後事項	-	-
(十二) 具重大影響之外幣資產及負債資訊	43～44	三二
(十三) 附註揭露事項		
1. 重大交易事項相關資訊	44	三三
2. 轉投資事業相關資訊	45	三三
3. 大陸投資資訊	45	三三
(十四) 部門資訊	45	三四

Deloitte.

勤業眾信

勤業眾信聯合會計師事務所
110421 台北市信義區松仁路100號20樓

Deloitte & Touche
20F, Taipei Nan Shan Plaza
No. 100, Songren Rd.,
Xinyi Dist., Taipei 110421, Taiwan

Tel :+886 (2) 2725-9988
Fax:+886 (2) 4051-6888
www.deloitte.com.tw

會計師核閱報告

大甲永和機械工業股份有限公司　公鑒：

前　　言

大甲永和機械工業股份有限公司及其子公司（大甲永和集團）民國 115 年及 114 年 9 月 30 日之合併資產負債表，暨民國 115 年及 114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日，以及民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併綜合損益表、民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併權益變動表與合併現金流量表，以及合併財務報表附註（包括重大會計政策彙總），業經本會計師核閱竣事。依證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製允當表達之合併財務報表係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對合併財務報表作成結論。

範　　圍

除保留結論之基礎段所述者外，本會計師係依照核閱準則 2410 號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱合併財務報表時所執行之程序包括查詢（主要向負責財務與會計事務之人員查詢）、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

保留結論之基礎

如合併財務報表附註十二所述，列入上開合併財務報表之非重要子公司之同期間財務報表未經會計師核閱，其民國 115 年及 114 年 9 月 30 日之資產總額分別為新台幣（以下同）90,396 仟元及 62,506 仟元，均占合併資產總額之 4%；負債總額分別為 40,215 仟元及 7,245 仟元，分別占合併負債總額之 4%

及1%；其民國115年及114年7月1日至9月30日以及民國115年及114年1月1日至9月30日之綜合損益總額分別為1,756仟元、(1,230)仟元、(3,182)仟元及(8,836)仟元，分別占合併綜合損益總額之 2%、(4%)、(2%)及(12%)。另合併財務報表附註揭露相關事項，其與前述非重要子公司有關之資訊亦未經會計師核閱。

保留結論

依本會計師核閱結果，除保留結論之基礎段所述非重要子公司之財務報表倘經會計師核閱，對合併財務報表可能有所調整之影響外，並未發現上開合併財務報表在所有重大方面有未依照證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製，致無法允當表達大甲永和集團民國115年及114年9月30日之合併財務狀況，暨民國115年及114年7月1日至9月30日之合併財務績效，以及民國115年及114年1月1日至9月30日之合併財務績效及合併現金流量之情事。

勤業眾信聯合會計師事務所

會計師 蔣 淑 菁

會計師 劉 力 維

金融監督管理委員會核准文號
金管證審字第1000028068號

金融監督管理委員會核准文號
金管證審字第1110348898號

中 華 民 國 115 年 11 月 9 日

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國 115 年 9 月 30 日暨民國 114 年 12 月 31 日及 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	115年9月30日 金額	%	114年12月31日 金額	%	114年9月30日 金額	%
	流動資產						
1100	現金（附註六）	$ 654,915	28	$ 439,392	26	$ 350,586	22
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動（附註七及十七）	2,500	-	-	-	-	-
1120	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動（附註八）	9,177	-	8,613	1	9,028	1
1136	按攤銷後成本衡量之金融資產－流動(附註九及三十)	720	-	720	-	720	-
1140	合約資產－流動（附註二一）	2,819	-	2,922	-	2,959	-
1150	應收票據（附註十、二一及二八）	49,508	2	51,787	3	70,313	4
1170	應收帳款淨額（附註十及二一）	414,053	18	207,947	12	218,020	13
1200	其他應收款	1,372	-	512	-	1,064	-
1220	本期所得稅資產（附註四及二三）	3,236	-	732	-	1,120	-
130X	存貨（附註十一）	563,662	24	473,292	27	446,707	27
1410	預付款項	42,190	2	16,561	1	34,016	2
1479	其他流動資產	77	-	7	-	69	-
1482	履行合約成本－流動（附註二一）	110,437	5	37,713	2	29,723	2
11XX	流動資產總計	1,854,666	79	1,240,198	72	1,164,325	71
	非流動資產						
1600	不動產、廠房及設備（附註十三及三十）	426,621	18	404,880	23	410,744	25
1755	使用權資產（附註十四）	29,872	1	31,029	2	30,121	2
1780	無形資產	486	-	645	-	656	-
1840	遞延所得稅資產（附註四及二三）	12,263	1	11,096	1	10,237	-
1990	其他非流動資產（附註十五及二九）	25,572	1	41,019	2	28,308	2
15XX	非流動資產總計	494,814	21	488,669	28	480,066	29
1XXX	資產總計	$ 2,349,480	100	$ 1,728,867	100	$ 1,644,391	100
代碼	負債及權益						
	流動負債						
2100	短期銀行借款（附註十六及三十）	$ 50,000	2	$ 30,000	2	$ 30,000	2
2130	合約負債－流動（附註二一）	2,738	-	2,848	-	348	-
2150	應付票據	38,645	2	11,636	1	11,528	1
2170	應付帳款	223,593	9	109,400	6	85,389	5
2200	其他應付款（附註十八）	180,278	8	152,025	9	111,464	7
2230	本期所得稅負債（附註四及二三）	29,933	1	15,633	1	8,913	-
2280	租賃負債－流動（附註十四及二九）	13,446	1	9,229	-	10,331	1
2320	一年內到期之長期銀行借款（附註十六及三十）	-	-	54,274	3	56,731	3
2399	其他流動負債	16,585	1	1,635	-	1,796	-
21XX	流動負債總計	555,218	24	386,680	22	316,500	19
	非流動負債						
2530	應付公司債（附註四及十七）	466,939	20	-	-	-	-
2541	長期銀行借款（附註十六及三十）	-	-	143,442	9	156,996	10
2570	遞延所得稅負債（附註四及二三）	11,971	-	11,971	1	11,971	1
2580	租賃負債－非流動（附註十四及二九）	17,736	1	21,694	1	21,192	1
2640	淨確定福利負債－非流動（附註四及十九）	2,223	-	3,431	-	4,117	-
25XX	非流動負債總計	498,869	21	180,538	11	194,276	12
2XXX	負債總計	1,054,087	45	567,218	33	510,776	31
	歸屬於本公司業主之權益						
3110	普通股股本	423,250	18	423,250	25	423,250	26
3200	資本公積	85,951	4	59,634	3	59,634	3
	保留盈餘						
3310	法定盈餘公積	184,045	8	174,971	10	174,971	11
3320	特別盈餘公積	2,039	-	2,536	-	2,536	-
3350	未分配盈餘	501,797	21	408,902	24	383,550	23
3400	其他權益	1,264	-	(2,039)	-	(4,264)	-
31XX	本公司業主權益總計	1,198,346	51	1,067,254	62	1,039,677	63
36XX	非控制權益	97,047	4	94,395	5	93,938	6
3XXX	權益總計	1,295,393	55	1,161,649	67	1,133,615	69
	負債與權益總計	$ 2,349,480	100	$ 1,728,867	100	$ 1,644,391	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分

（參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 115 年 11 月 9 日核閱報告）

董事長：黃士峯　　經理人：鍾志清　　會計主管：王淑瑜

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國 115 年及 114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日以及民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

單位：新台幣仟元，惟每股盈餘為元

代碼		115年7月1日至9月30日 金額	%	114年7月1日至9月30日 金額	%	115年1月1日至9月30日 金額	%	114年1月1日至9月30日 金額	%
4000	營業收入淨額（附註二一）	$ 525,953	100	$ 340,259	100	$1,333,113	100	$1,017,243	100
5000	營業成本(附註十一及二二)	367,627	70	276,959	81	998,587	75	812,699	80
5900	營業毛利	158,326	30	63,300	19	334,526	25	204,544	20
	營業費用(附註二二及二九)								
6100	推銷費用	23,153	4	12,591	4	46,893	3	31,169	3
6200	管理費用	27,702	5	20,410	6	72,240	5	58,886	6
6300	研究發展費用	3,413	1	3,295	1	9,890	1	9,969	1
6450	預期信用減損損失(迴轉利益)(附註十)	207	-	25	-	345	-	(3,003)	-
6000	營業費用合計	54,475	10	36,321	11	129,368	9	97,021	10
6900	營業淨利	103,851	20	26,979	8	205,158	16	107,523	10
	營業外收入及支出								
7010	其他收入	805	-	611	-	2,486	-	1,805	-
7230	外幣兌換淨利益(損失)（附註三二）	855	-	5,018	1	1,510	-	(10,753)	(1)
7235	透過損益按公允價值衡量之金融資產利益（附註四）	4,550	1	-	-	4,550	-	-	-
7510	財務成本（附註二九）	(1,772)	-	(1,243)	-	(4,046)	-	(4,017)	-
7590	什項支出	(12)	-	(145)	-	(17)	-	(155)	-
7000	營業外收入及支出合計	4,426	1	4,241	1	4,483	-	(13,120)	(1)
7900	稅前淨利	108,277	21	31,220	9	209,641	16	94,403	9
7950	所得稅費用(附註四及二三)	21,367	4	6,138	2	42,030	3	20,042	2
8200	本期淨利	86,910	17	25,082	7	167,611	13	74,361	7
	其他綜合損益								
8310	不重分類至損益之項目：								
8316	透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損益	667	-	1,224	-	563	-	1,055	-
8360	後續可能重分類至損益之項目：								
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	666	-	2,392	1	2,740	-	(2,783)	-
8300	本期其他綜合損益（稅後淨額）	1,333	-	3,616	1	3,303	-	(1,728)	-
8500	本期綜合損益總額	$ 88,243	17	$ 28,698	8	$ 170,914	13	$ 72,633	7

（接次頁）

（承前頁）

代碼		115年7月1日至9月30日 金額	%	114年7月1日至9月30日 金額	%	115年1月1日至9月30日 金額	%	114年1月1日至9月30日 金額	%
8600	淨利歸屬於：								
8610	本公司業主	$ 86,139	17	$ 24,316	7	$ 164,959	13	$ 72,628	7
8620	非控制權益	771	-	766	-	2,652	-	1,733	-
		$ 86,910	17	$ 25,082	7	$ 167,611	13	$ 74,361	7
8700	綜合損益總額歸屬於：								
8710	本公司業主	$ 87,472	17	$ 27,932	8	$ 168,262	13	$ 70,900	7
8720	非控制權益	771	-	766	-	2,652	-	1,733	-
		$ 88,243	17	$ 28,698	8	$ 170,914	13	$ 72,633	7
	每股盈餘（附註二四）								
9750	基本	$ 2.04		$ 0.58		$ 3.90		$ 1.72	
9850	稀釋	$ 1.88		$ 0.57		$ 3.76		$ 1.71	

後附之附註係本合併財務報告之一部分

（參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 115 年 11 月 9 日核閱報告）

董事長：黃士峯　　經理人：鍾志清　　會計主管：王淑瑜

大甲永和機械手套股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代碼		歸屬於本公司業主之權益（附註二十）									
				保留盈餘			其他權益項目				
		普通股股本	資本公積	法定盈餘公積	特別盈餘公積	未分配盈餘	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現評價損益	總計	非控制權益	權益總計
A1	114 年 1 月 1 日餘額	$ 423,250	$ 60,037	$ 166,078	$ 5,301	$ 379,314	($ 1,809)	($ 727)	$ 1,031,444	$ 3,843	$ 1,035,287
	113 年度盈餘指撥及分配										
B1	法定盈餘公積	-	-	8,893	-	(8,893)	-	-	-	-	-
B5	本公司股東現金股利	-	-	-	-	(55,022)	-	-	(55,022)	-	(55,022)
B17	迴轉特別盈餘公積	-	-	-	(2,765)	2,765	-	-	-	-	-
D1	114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利	-	-	-	-	72,628	-	-	72,628	1,733	74,361
D3	114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	(2,783)	1,055	(1,728)	-	(1,728)
D5	114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日綜合損益總額	-	-	-	-	72,628	(2,783)	1,055	70,900	1,733	72,633
E1	子公司現金增資（附註二五）	-	-	-	-	-	-	-	-	83,050	83,050
M7	對子公司所有權權益變動（附註二五）	-	(403)	-	-	(7,242)	-	-	(7,645)	7,645	-
O1	子公司發放現金股利	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,333)	(2,333)
Z1	114 年 9 月 30 日餘額	$ 423,250	$ 59,634	$ 174,971	$ 2,536	$ 383,550	($ 4,592)	$ 328	$ 1,039,677	$ 93,938	$ 1,133,615
A1	115 年 1 月 1 日餘額	$ 423,250	$ 59,634	$ 174,971	$ 2,536	$ 408,902	($ 1,952)	($ 87)	$ 1,067,254	$ 94,395	$ 1,161,649
	114 年度盈餘指撥及分配										
B1	法定盈餘公積	-	-	9,074	-	(9,074)	-	-	-	-	-
B5	本公司股東現金股利	-	-	-	-	(63,487)	-	-	(63,487)	-	(63,487)
B17	迴轉特別盈餘公積	-	-	-	(497)	497	-	-	-	-	-
C5	本公司發行可轉換公司債認列權益組成部分	-	26,317	-	-	-	-	-	26,317	-	26,317
D1	115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利	-	-	-	-	164,959	-	-	164,959	2,652	167,611
D3	115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	2,740	563	3,303	-	3,303
D5	115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日綜合損益總額	-	-	-	-	164,959	2,740	563	168,262	2,652	170,914
Z1	115 年 9 月 30 日餘額	$ 423,250	$ 85,951	$ 184,045	$ 2,039	$ 501,797	$ 788	$ 476	$ 1,198,346	$ 97,047	$ 1,295,393

後附之附註係本合併財務報告之一部分

（參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 115 年 11 月 9 日核閱報告）

董事長：黃士峯　　經理人：鍾志清　　會計主管：王淑瑜

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代　碼		115 年 1 月 1 日 至 9 月 30 日	114 年 1 月 1 日 至 9 月 30 日
	營業活動之現金流量		
A10000	本期稅前淨利	$ 209,641	$ 94,403
A20010	不影響現金流量之收益費損項目		
A20100	折舊費用	34,386	33,612
A20200	攤銷費用	179	187
A20300	預期信用減損損失（迴轉利益）	345	(3,003)
A20400	透過損益按公允價值衡量之金融資產之淨利益	(4,550)	-
A20900	財務成本	4,046	4,017
A21200	利息收入	(1,015)	(968)
A21300	股利收入	(178)	(70)
A22500	處分不動產、廠房及設備損失	-	144
A23800	非金融資產減損損失(回升利益)	755	(595)
A24100	外幣兌換淨損失（利益）	152	(515)
A30000	營業資產及負債之淨變動數		
A31125	合約資產	103	451
A31130	應收票據	2,332	(3,434)
A31150	應收帳款	(206,075)	78,756
A31180	其他應收款	(860)	(978)
A31200	存　　貨	(91,021)	(23,190)
A31230	預付款項	(25,416)	(21,821)
A31240	其他流動資產	(70)	(66)
A31280	履行合約成本	(72,724)	18,221
A32125	合約負債	(110)	(5,390)
A32130	應付票據	27,009	2,262
A32150	應付帳款	113,897	(5,076)
A32180	其他應付款	27,218	(20,830)
A32230	其他流動負債	24	567
A32240	淨確定福利負債	(1,208)	(1,454)
A33000	營運產生之淨現金流入	16,860	145,230
A33100	收取之利息	1,015	968
A33300	支付之利息	(3,512)	(4,003)
A33500	支付之所得稅	(31,401)	(28,605)
AAAA	營業活動之淨現金流入（出）	(17,038)	113,590

（接次頁）

（承前頁）

代　碼		115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
	投資活動之現金流量		
B02700	購置不動產、廠房及設備	($ 12,578)	($ 2,346)
B02800	處分不動產、廠房及設備	-	150
B03700	存出保證金增加	(569)	(2)
B03800	存出保證金減少	147	30
B04500	購置無形資產	-	(15)
B06700	其他非流動資產增加	(743)	-
B07100	預付設備款增加	(16,794)	(26,462)
B07600	收取之股利	178	70
BBBB	投資活動之淨現金流出	(30,359)	(28,575)
	籌資活動之現金流量		
C00100	短期銀行借款增加	190,000	40,000
C00200	短期銀行借款減少	(170,000)	(60,000)
C01200	發行可轉換公司債	494,704	-
C01600	舉借長期銀行借款	-	70,000
C01700	償還長期銀行借款	(197,716)	(85,948)
C04020	租賃負債本金償還	(6,976)	(6,388)
C04500	支付本公司業主現金股利	(63,487)	(55,022)
C04600	非控制權益變動－子公司現金增資	14,817	83,050
C05800	支付非控制權益現金股利	-	(2,333)
CCCC	籌資活動之淨現金流入（出）	261,342	(16,641)
DDDD	匯率變動對現金之影響	1,578	(1,117)
EEEE	本期現金淨增加	215,523	67,257
E00100	期初現金餘額	439,392	283,329
E00200	期末現金餘額	$ 654,915	$ 350,586

後附之附註係本合併財務報告之一部分

（參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國115年11月9日核閱報告）

董事長：黃士峯　經理人：鍾志清　會計主管：王淑瑜

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

合併財務報告附註

民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（除另予註明外，金額以新台幣及外幣仟元為單位）

一、公司沿革

大甲永和機械工業股份有限公司（以下稱「本公司」）成立於 66 年 8 月，為促進合理經營並擴大營業規模，爰於 86 年 12 月與台灣管配件工業股份有限公司進行合併。主要營業項目為各種石化工業與電子工業用金屬管件及附屬配件之製造及買賣等。

本公司股票於 96 年 8 月起在財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心掛牌買賣。

本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣新台幣表達。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於 115 年 11 月 9 日經董事會通過。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一) 初次適用金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）認可並發布生效之國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）（以下稱「IFRS 會計準則」）

除下列說明外，適用金管會認可並發布生效之 IFRS 會計準則將不致造成本公司及由本公司所控制個體（以下稱「合併公司」）會計政策之重大變動：

IFRS 9 及 IFRS 7 之修正「金融工具之分類與衡量之修正」

1. 有關金融資產分類之應用指引修正內容

該修正主要修改金融資產之分類規定，包括：

(1) 若金融資產包含一項可改變合約現金流量時點或金額之或有事項，且或有事項之性質與基本放款風險及成本之變動無直接關聯（如債務人是否達到特定碳排量減少），此類金融資產於符合下列兩項條件時其合約現金流量仍完全為支付本金及流通在外本金金額之利息：

- 所有可能情境（或有事項發生前或發生後）產生之合約現金流量均完全為支付本金及流通在外本金金額之利息；及
- 所有可能情境下產生之合約現金流量與具有相同合約條款但未含或有特性之金融工具之現金流量，並無重大差異。

(2) 闡明無追索權特性之金融資產係指企業收取現金流量之最終權利，依合約僅限於特定資產產生之現金流量。

(3) 釐清合約連結工具係透過瀑布支付結構建立多種分級證券以建立金融資產持有人之支付優先順序，因而產生信用風險集中，並導致來自標的池之現金短收在不同分級證券間之分配不成比例。

2. 有關金融負債除列之應用指引修正內容

該修正主要說明金融負債應於交割日除列，惟當企業使用電子支付系統以現金交割金融負債，若符合下列條件，得選擇於交割日前除列金融負債：

- 企業不具有撤回、停止或取消該支付指示之實際能力；
- 企業因該支付指示而不具有取用將被用於交割之現金之實際能力；及
- 與該電子支付系統相關之交割風險並不顯著。

初次適用上述 IFRS 會計準則時，合併公司選擇不重編比較期間資訊。

(二) 116 年適用之金管會認可之 IFRS 會計準則

新發布／修正／修訂準則及解釋	國際會計準則理事會（IASB）發布之生效日
IFRS 18「財務報表中之表達與揭露」	2027 年 1 月 1 日（註 1）
IFRS 19「不具公共課責性之子公司：揭露」（含 2025 年之修正）	2027 年 1 月 1 日
IAS 21 之修正「換算為高度通貨膨脹之表達貨幣」	2027 年 1 月 1 日
IAS 28 之修正「對投資關聯企業及合資之公允價值選項之修正」	2027 年 1 月 1 日（註 2）

註 1：我國企業應自 117 年 1 月 1 日適用 IFRS 18，亦得選擇提前適用。

註 2：應於適用 IFRS 18 時，同時適用該等修正內容。

IFRS 18「財務報表中之表達與揭露」及相關配套修正暨 IAS 28 之修正「對投資關聯企業及合資之公允價值選項之修正」

IFRS 18 將取代 IAS 1「財務報表之表達」，該準則主要變動包括：

- 合併公司應評估是否具有投資於特定類型之資產及提供融資予客戶之特定主要經營活動，據以將損益表之收益及費損項目分為營業、投資、籌資、所得稅及停業單位種類。
- 損益表應列報營業損益、籌資前稅前損益以及損益之小計及總計。
- 提供指引以強化彙總及細分規定：合併公司須辨認個別交易或其他事項所產生之資產、負債、權益、收益、費損及現金流量，並以共同特性為基礎進行分類與彙總，俾使主要財務報表列報之各單行項目至少具有一項類似特性。具有非類似特性之項目於主要財務報表及附註中應予細分。合併公司僅於無法找出較具資訊性之標示時，始將該等項目標示為「其他」。
- 增加管理階層定義之績效衡量之揭露：合併公司於進行財務報表外之公開溝通，以及向財務報表使用者溝通對合併公司整體財務績效某一層面之管理階層觀點時，應於財務報表單一附註揭露管理階層定義之績效衡量相關資訊，包括該衡量之描述、如何計算、其與 IFRS 會計準則明定之小計或總計之調節以及相關調節項目之所得稅與非控制權益影響等。

於初次適用 IFRS 18 時，創業投資組織或共同基金、單位信託及類似個體之個體（或間接透過該等個體）得將其衡量投資關聯企業或合資之選擇，自權益法改變為透過損益按公允價值衡量。IAS 28 之修正係闡明前述「類似個體」包括依 IFRS 18 評估將投資於特定類型之資產作為主要經營活動之個體。若合併公司符合前述條件，得於初次適用日選擇作此變動。

此外，IAS 7「現金流量表」進行以下配套修正：

- 合併公司以間接法編製營業活動之現金流量時，應以營業損益作為調節起始點。
- 合併公司收取之利息及股利應分類為投資活動，而支付之利息及股利應分類為籌資活動。若合併公司經評估具有特定主要經營活動，須考量損益表中列報股利收入、利息收入及利息費用之種類，據以決定收取股利、收取利息及支付利息於現金流量表中之分類，惟上述各項現金流量僅能各自分類於現金流量表之單一活動中。

合併公司預計不提前適用 IFRS 18 及相關配套修正。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估各號準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之其他影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

(三) IASB 已發布但尚未經金管會認可並發布生效之 IFRS 會計準則

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日（註）
IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	未　定
IFRS 20「管制資產及管制負債」	2029 年 1 月 1 日

註：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度報導期間生效。

截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估各號準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

(一) 遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可並發布生效之 IAS 34「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有 IFRS 會計準則揭露資訊。

(二) 編製基礎

除按公允價值衡量之金融工具及按確定福利義務現值減除計畫資產公允價值認列之淨確定福利負債外，本合併財務報告係依歷史成本基礎編製。

公允價值衡量依照相關輸入值之可觀察程度及重要性分為第 1 等級至第 3 等級：

1. 第 1 等級輸入值：係指於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價（未經調整）。
2. 第 2 等級輸入值：係指除第 1 等級之報價外，資產或負債直接（亦即價格）或間接（亦即由價格推導而得）之可觀察輸入值。
3. 第 3 等級輸入值：係指資產或負債之不可觀察之輸入值。

(三) 合併基礎

本合併財務報告係包含本公司及由本公司所控制個體（子公司）之財務報告。合併綜合損益表已納入被收購或被處分子公司於當期自收購日起或至處分日止之營運損益。子公司之財務報告已予調整，以使其會計政策與合併公司之會計政策一致。於編製合併財務報告時，各個體間之交易、帳戶餘額、收益及費損已全數予以銷除。子公司之綜合損益總額係歸屬至本公司業主及非控制權益。

當合併公司對子公司所有權權益之變動未導致喪失控制者，係作為權益交易處理。合併公司及非控制權益之帳面金額已予調整，以反映其於子公司相對權益之變動。非控制權益之調整金額與所支付或收取對價之公允價值間之差額，係直接認列為權益且歸屬於本公司業主。

子公司明細、持股比率及營業項目，參閱附註十二及附表四、五。

(四) 其他重大會計政策

除下列說明外，參閱 114 年度合併財務報告之重大會計政策彙總說明。

1. 可轉換公司債

合併公司發行之複合金融工具（可轉換公司債）係依據合約協議之實質與金融負債及權益工具之定義，於原始認列時將其組成部分分別分類為金融負債及權益。

原始認列時，負債組成部分之公允價值係以類似之不可轉換工具當時市場利率估算，並於執行轉換或到期日前，以有效利息法計算之攤銷後成本衡量。屬嵌入非權益衍生工具之負債組成部分則以公允價值衡量。

分類為權益之轉換權係等於該複合工具整體公允價值減除經單獨決定之負債組成部分公允價值之剩餘金額，經扣除所得稅影響數後認列為權益，後續不再衡量。於該轉換權被執行時，其相關之負債組成部分及於權益之金額將轉列股本及資本公積－發行溢價。可轉換公司債之轉換權若於到期日仍未被執行，該認列於權益之金額將轉列資本公積－發行溢價 。

發行可轉換公司債之相關交易成本，係按分攤總價款之比例分攤至該工具之負債（列入負債帳面金額）及權益組成部分（列入權益）。

2. 金融負債之除列

金融負債係於交割日除列，交割日係指負債因合約明訂之義務履行、取消或到期而消滅之日，與具重大不同條款之債務工具交換，或負債條款作重大修改之日。對於使用電子支付系統以現金交割之金融負債，若合併公司於啟動支付指示後已不具有撤銷、停止或取消支付指示及取用將被用於交割之現金之實際能力，且與該電子支付系統相關之交割風險並不顯著，則於啟動支付指示時除列。除列金融負債時，其帳面金額與所支付對價（包含任何所移轉之非現金資產或承擔之負債）間之差額認列為損益。

3. 確定福利退職後福利

期中期間之退休金成本係採用前一年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算，並針對本期之重大市場波動，及重大計畫修正、清償或其他重大一次性事項加以調整。

4. 所得稅費用

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

合併公司於採用會計政策時，對於不易自其他來源取得相關資訊者，管理階層必須基於歷史經驗及其他攸關之因素作出相關之判斷、估計及假設。實際結果可能與估計有所不同。

合併公司於發展重大會計估計值時，將氣候變遷及相關政府政策及法規、通貨膨脹、市場利率、金融、能源及外匯市場波動可能之影響，納入對現金流量推估、成長率、折現率、獲利能力等相關重大估計之考量，管理階層將持續檢視估計與基本假設。

合併公司所採用之會計政策、估計及基本假設，經合併公司管理階層評估後，並無重大會計判斷、估計及假設不確定性之情形。

六、現　　金

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
零用金及庫存現金	$ 1,268	$ 840	$ 526
銀行支票及活期存款	653,647	438,552	350,060
	$ 654,915	$ 439,392	$ 350,586

七、透過損益按公允價值衡量之金融工具

金融資產－流動	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
強制透過損益按公允價值衡量			
衍生工具			
國內可轉換公司債之贖回權及賣回權（附註十七）	$ 2,500	$ -	$ -

八、透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動

權益工具投資	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
國外上市股票	$ 6,928	$ 6,310	$ 6,648
國內未上市櫃股票	2,249	2,303	2,380
	$ 9,177	$ 8,613	$ 9,028

合併公司依中長期策略目的投資上述公司普通股，並預期透過長期投資獲利。合併公司管理階層認為若將該等投資之短期公允價值波動列入損益，與前述長期投資規劃並不一致，因此選擇指定該等投資為透過其他綜合損益按公允價值衡量。

九、按攤銷後成本衡量之金融資產－流動

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
原始到期日超過3個月之定期存款	$ 720	$ 720	$ 720

按攤銷後成本衡量之金融資產質押等資訊，參閱附註三十。

十、應收票據及應收帳款淨額

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
應收票據			
因營業而發生	$ 49,508	$ 51,787	$ 70,313
減：備抵損失	-	-	-
	$ 49,508	$ 51,787	$ 70,313
應收帳款			
按攤銷後成本衡量			
總帳面金額	$ 414,566	$ 208,113	$ 218,195
減：備抵損失	(513)	(166)	(175)
	$ 414,053	$ 207,947	$ 218,020

(一)應收票據

應收票據之帳齡分析如下：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
未逾期	$ 49,508	$ 51,787	$ 70,313
已逾期	-	-	-
	$ 49,508	$ 51,787	$ 70,313

(二) 應收帳款

合併公司對商品銷售之平均授信期間為 30 天至 120 天，承攬勞務合約則依合約請款。為減輕信用風險，合併公司管理階層指派專責團隊負責授信額度之決定、授信核准及其他監控程序以確保逾期應收帳款之回收已採取適當行動。此外，合併公司於資產負債表日會逐一複核應收帳款之可回收金額以確保無法回收之應收帳款已提列適當減損損失。據此，本公司管理階層認為合併公司之信用風險已顯著減少。

合併公司按存續期間預期信用損失認列應收帳款之備抵損失。存續期間預期信用損失係使用準備矩陣計算，其考量客戶過去違約紀錄與現時財務狀況、產業經濟情勢，並同時考量 GDP 預測及產業展望。因合併公司之信用損失歷史經驗顯示，不同客戶群之損失型態並無顯著差異，因此準備矩陣未進一步區分客戶群，僅以應收帳款逾期天數訂定預期信用損失率。

若有證據顯示交易對方面臨嚴重財務困難且合併公司無法合理預期可回收金額，合併公司直接沖銷相關應收帳款，惟仍會持續追索活動，因追索回收之金額則認列於損益。

合併公司依準備矩陣衡量應收帳款之備抵損失如下：

	未逾期	逾期 1至90天	逾期 91至240天	逾期 241至300天	逾期 超過300天	合計
115年9月30日						
預期信用損失率	0.01%-0.1%	0.02%-0.8%	1%-8%	14%-38%	100%	
總帳面金額	$ 335,857	$ 78,709	$ -	$ -	$ -	$ 414,566
備抵損失（存續期間預期信用損失）	(293)	(220)	-	-	-	(513)
攤銷後成本	$ 335,564	$ 78,489	$ -	$ -	$ -	$ 414,053
114年12月31日						
預期信用損失率	0.01%-0.1%	0.02%-0.8%	1%-8%	14%-38%	100%	
總帳面金額	$ 198,881	$ 9,193	$ 35	$ 4	$ -	$ 208,113
備抵損失（存續期間預期信用損失）	(151)	(13)	(1)	(1)	-	(166)
攤銷後成本	$ 198,730	$ 9,180	$ 34	$ 3	$ -	$ 207,947
114年9月30日						
預期信用損失率	0.01%-0.1%	0.02%-0.8%	1%-8%	14%-38%	100%	
總帳面金額	$ 200,801	$ 17,361	$ 33	$ -	$ -	$ 218,195
備抵損失（存續期間預期信用損失）	(151)	(23)	(1)	-	-	(175)
攤銷後成本	$ 200,650	$ 17,338	$ 32	$ -	$ -	$ 218,020

應收帳款備抵損失之變動資訊如下：

	115年1月1日 至9月30日	114年1月1日 至9月30日
期初餘額	$ 166	$ 14,794
本期提列（迴轉）減損損失	345	(3,003)
本期實際沖銷	-	(11,510)
淨兌換差額	2	(106)
期末餘額	$ 513	$ 175

十一、存　　貨

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
製 成 品	$ 259,239	$ 242,968	$ 225,957
在 製 品	156,147	63,125	86,761
原 物 料	133,746	148,378	118,280
商　　品	14,530	18,821	15,709
	$ 563,662	$ 473,292	$ 446,707

銷貨成本性質如下：

	115年7月1日 至9月30日	114年7月1日 至9月30日	115年1月1日 至9月30日	114年1月1日 至9月30日
已銷售之存貨成本	$ 270,300	$ 176,389	$ 692,145	$ 503,514
出售下腳及廢料收入	(3,729)	(3,390)	(11,323)	(10,825)
未分攤製造費用	-	1,822	3,463	3,549
存貨跌價損失 （回升利益）	(155)	(136)	755	(595)
其　　他	(87)	254	378	1,041
	$ 266,329	$ 174,939	$ 685,418	$ 496,684

十二、子公司

(一) 列入合併財務報告之子公司

本合併財務報告編製主體如下：

投資公司名稱	子公司名稱	所持股權% 115年 9月30日	 114年 12月31日	 114年 9月30日
本公司	MATE ENTERPRISES LTD.（MATE）	100	100	100
	大川研科技股份有限公司（大川研公司）	66.68	66.68	66.68
MATE	安徽大甲管材有限公司（安徽大甲公司）	100	100	100

大川研公司於 113 年 12 月董事會通過現金增資發行新股 6,398,300 股，發行總金額為 83,050 仟元，惟本公司已於 113 年 12 月董事會決議放棄認購，並授權大川研公司洽特定人認購，至其持股比例由 98%下降為 66.68%，經評估未影響本公司對大川研公司之控制，相關資訊參閱附註二五。

大川研公司於 115 年 9 月董事會通過現金增資發行新股 3,000,000 股，發行總金額為 39,000 仟元，惟本公司未足額認購，並由大川研公司洽特定人認購，經評估未影響本公司對大川研公司之控制。大川研公司業已於 115 年 9 月預收股款 14,817 仟元（帳列其他流動負債項下），並訂定 115 年 10 月 30 日為增資基準日，截至核閱報告日止，尚未完成變更登記。

上述子公司之業務性質，參閱附表四及五。除大川研公司係依據同期間經會計師核閱之財務報表認列外，餘係非重要子公司，其財務報告未經會計師核閱。

(二) 具重大非控制權益之子公司資訊

	非控制權益所持股權及表決權比例		
子公司名稱	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
大川研公司	33.32%	33.32%	33.32%

以下大川研公司之彙總性財務資訊係以公司間交易銷除前之金額編製：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
流動資產	$ 432,737	$ 384,609	$ 354,933
非流動資產	15,362	9,456	9,538
流動負債	(152,157)	(108,449)	(80,725)
非流動負債	(3,376)	(373)	(125)
權　　益	$ 292,566	$ 285,243	$ 283,621
權益歸屬於：			
本公司業主	$ 195,084	$ 190,201	$ 189,119
大川研公司之非控制權益	97,482	95,042	94,502
	$ 292,566	$ 285,243	$ 283,621

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
營業收入	$ 128,399	$ 124,840	$ 384,046	$ 384,674
本期淨利	$ 1,866	$ 3,812	$ 7,323	$ 10,822
其他綜合損益	-	-	-	-
綜合損益總額	$ 1,866	$ 3,812	$ 7,323	$ 10,822
淨利歸屬於：				
本公司業主	$ 1,245	$ 2,541	$ 4,883	$ 8,525
大川研公司之非控制權益	621	1,271	2,440	2,297
	$ 1,866	$ 3,812	$ 7,323	$ 10,822
綜合損益總額歸屬於：				
本公司業主	$ 1,245	$ 2,541	$ 4,883	$ 8,525
大川研公司之非控制權益	621	1,271	2,440	2,297
	$ 1,866	$ 3,812	$ 7,323	$ 10,822
現金流量				
營業活動			($ 53,451)	$ 19,537
投資活動			(2,440)	(857)
籌資活動			(964)	75,421
淨現金流入(出)			($ 56,855)	$ 94,101

十三、不動產、廠房及設備

115年1月1日至9月30日	自有土地	建築物	機器設備	其他設備	合計
成本					
期初餘額	$ 157,495	$ 174,591	$ 228,100	$ 71,601	$ 631,787
增添	-	209	8,472	4,986	13,667
處分	-	(2,837)	(5,251)	(6,622)	(14,710)
重分類	-	8,415	13,649	11,474	33,538
淨兌換差額	-	-	1,312	198	1,510
期末餘額	$ 157,495	$ 180,378	$ 246,282	$ 81,637	$ 665,792
累計折舊及減損					
期初餘額	$ -	$ 65,546	$ 121,897	$ 39,464	$ 226,907
處分	-	(2,837)	(5,251)	(6,622)	(14,710)
折舊費用	-	3,736	15,412	6,868	26,016
淨兌換差額	-	-	771	187	958
期末餘額	$ -	$ 66,445	$ 132,829	$ 39,897	$ 239,171
期末淨額	$ 157,495	$ 113,933	$ 113,453	$ 41,740	$ 426,621
期初淨額	$ 157,495	$ 109,045	$ 106,203	$ 32,137	$ 404,880

114年1月1日至9月30日	自有土地	建築物	機器設備	其他設備	合計
成本					
期初餘額	$ 157,495	$ 191,020	$ 234,227	$ 74,238	$ 656,980
增添	-	423	2,476	100	2,999
處分	-	(17,195)	(12,576)	(8,279)	(38,050)
重分類	-	1,853	2,635	6,588	11,076
淨兌換差額	-	-	(1,077)	(163)	(1,240)
期末餘額	$ 157,495	$ 176,101	$ 225,685	$ 72,484	$ 631,765
累計折舊及減損					
期初餘額	$ -	$ 78,398	$ 115,395	$ 39,684	$ 233,477
處分	-	(17,195)	(12,282)	(8,279)	(37,756)
折舊費用	-	4,531	14,096	7,337	25,964
淨兌換差額	-	-	(514)	(150)	(664)
期末餘額	$ -	$ 65,734	$ 116,695	$ 38,592	$ 221,021
期末淨額	$ 157,495	$ 110,367	$ 108,990	$ 33,892	$ 410,744

合併公司115年及114年1月1日至9月30日並未認列或迴轉減損損失。

折舊費用係以直線基礎按下列耐用年數計提：

建築物	
廠房主建物	36至51年
員工宿舍	16年
其他改良物	4至11年
機器設備	3至20年
其他設備	2至20年

合併公司設定抵押作為借款擔保之不動產、廠房及設備金額，參閱附註三十。

十四、租賃協議

(一) 使用權資產

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
使用權資產帳面金額			
建築物	$ 27,656	$ 27,534	$ 28,085
運輸設備	2,216	3,495	2,036
	$ 29,872	$ 31,029	$ 30,121

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
使用權資產之增添			$ 6,860	$ 1,249
使用權資產之折舊費用				
建築物	$ 2,640	$ 2,063	$ 7,091	$ 6,428
運輸設備	427	406	1,279	1,220
	$ 3,067	$ 2,469	$ 8,370	$ 7,648

除以上所列增添及折舊費用外，合併公司之使用權資產於115年及114年1月1日至9月30日並未發生重大轉租及減損情形。

(二) 租賃負債

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
租賃負債帳面金額			
流動	$ 13,446	$ 9,229	$ 10,331
非流動	$ 17,736	$ 21,694	$ 21,192

租賃負債之折現率區間（%）如下：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
建築物	1.51-1.99	1.51-1.99	1.51-1.99
運輸設備	1.51-1.99	1.51-1.99	1.51-1.90

(三) 重要承租活動及條款

合併公司為承租人之租賃係承租廠房、辦公室及運輸設備等，租賃期間為1至5年。於租賃期間終止時，合併公司對所租賃之廠房、辦公室及運輸設備等並無優惠承購權。

(四) 其他租賃資訊

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
短期租賃費用	$ 421	$ 529	$ 1,455	$ 1,525
低價值資產租賃費用	$ 18	$ 12	$ 42	$ 39
租賃之現金流出總額			$ 8,771	$ 8,274

合併公司選擇對符合短期租賃之宿舍、辦公室及符合低價值資產租賃之若干辦公設備租賃適用認列之豁免，不對該等租賃認列相關使用權資產及租賃負債。

十五、其他非流動資產

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
預付設備款	$ 21,564	$ 38,228	$ 25,495
存出保證金	3,239	2,791	2,813
其　　他	769	-	-
	$ 25,572	$ 41,019	$ 28,308

十六、借　　款

(一) 短期銀行借款

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
抵押借款	$ 50,000	$ -	$ 30,000
信用借款	-	30,000	-
	$ 50,000	$ 30,000	$ 30,000
年利率（%）			
抵押借款	1.875	-	1.875
信用借款	-	1.85	-

抵押借款係以本公司自有土地及建築物抵押擔保，參閱附註三十。

(二) 長期銀行借款

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
抵押借款	$ -	$ 117,716	$ 125,227
信用借款	-	80,000	88,500
	-	197,716	213,727
減：一年內到期部分	-	(54,274)	(56,731)
一年後到期部分	$ -	$ 143,442	$ 156,996
年利率（%）			
抵押借款	-	1.94-2.03	1.94-2.03
信用借款	-	1.90-1.99	1.90-1.99
到期日			
抵押借款	-	116.9-118.6	116.11-118.6
信用借款	-	116.8-116.9	114.11-116.9

抵押借款係以本公司自有土地及建築物抵押擔保，參閱附註三十。

本公司與遠東國際商業銀行簽訂授信合約。依據授信合約規定，於授信存續期間內，應遵守每半年度及年度合併財務報表之財務比率如下：

1. 流動比率不得低於 120%；
2. 負債比率不得高於 130%；
3. 利息保障倍數不得低於 3 倍；
4. 有形淨值不得低於 500,000 仟元。

本公司與元大商業銀行簽訂授信合約，依據授信合約規定，於授信存續期間內，應遵守每半年度及年度合併財務報表之財務比率如下：

1. 流動比率須大於 150%（含）以上；
2. 負債比率須低於 120%（含）以下；
3. 利息保障倍數須大於 5 倍（含）以上。

本公司與中國信託商業銀行簽訂授信合約，依據授信合約規定，於授信存續期間內，應遵守每半年度及年度合併財務報表之財務比率如下：

1. 流動比率須大於 120%（含）以上；
2. 負債比率須低於 130%（含）以下；
3. 利息保障倍數須大於 3 倍（含）以上。

合併公司各項財務比率均符合合約規定。

合併公司已於 115 年 9 月提前償還。

十七、應付公司債

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
國內無擔保可轉換公司債	$ 466,939	$ -	$ -

本公司於 115 年 9 月 11 日發行票面利率為 0%之國內無擔保可轉換公司債，每張面額為 100 仟元，依票面金額之 100%發行，發行總張數為 5,000 張，發行總額為 500,000 仟元，發行期間為 3 年，118 年 9 月 11 日到期。

每張公司債持有人有權以每股 82.16 元轉換為本公司之普通股。轉換期間為 115 年 12 月 12 日至 118 年 9 月 11 日。若公司債屆時未轉換，將於到期時依債券面額以現金一次償還。其他重大條款尚包括：

本公司之贖回權

本轉換公司債發行滿 3 個月後翌日起（115 年 12 月 12 日）至發行期間屆滿前 40 日止（118 年 8 月 2 日），本公司普通股收盤價連續 30 個營業日超過當時轉換價格達 30%（含）時，或本轉換公司債流通在外餘額低於原發行總額之 10%時，本公司得依辦法按債券面額以現金贖回其流通在外之本轉換公司債。

轉換公司債持有人之賣回權

本轉換公司債發行滿 2 年之日（117 年 9 月 11 日）為本轉換公司債持有人提前賣回本轉換公司債之賣回基準日。本轉換公司債持有人得於賣回基準日之前 40 日內要求本公司以債券面額之 102.01%將其所持有之本轉換公司債以現金贖回。

此可轉換公司債包括負債及權益組成部分，權益組成部分於權益項下以資本公積－認股權表達。負債組成部分原始認列之有效利率為 2.3256%；贖回權及賣回權之衍生工具係帳列透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動。

發行價款（減除交易成本 5,296 仟元）	$ 494,704
權益組成部分（減除分攤至權益之交易成本 283 仟元）	(26,317)
贖回權及賣回權之衍生工具	(2,050)
發行日負債組成部分(減除分攤至負債之交易成本 5,013 仟元）	466,337
以有效利率 2.3256%計算之利息	602
115 年 9 月 30 日負債組成部分	$ 466,939

十八、其他應付款

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
應付薪資及獎金	$ 65,395	$ 72,851	$ 55,158
應付休假給付	19,531	17,255	17,709
應付員工酬勞	7,511	8,771	4,653
應付董事酬勞	1,686	1,558	847
應付設備款	2,346	1,233	1,432
其　　他	83,809	50,357	31,665
	$ 180,278	$ 152,025	$ 111,464

十九、退職後福利計畫

115年及114年7月1日至9月30日與115年及114年1月1日至9月30日認列之確定福利計畫相關退休金費用係以114年及113年12月31日精算決定之退休金成本率計算，金額分別為154仟元及61仟元、462仟元及183仟元。

二十、權　　益

(一) 普通股股本

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
額定股數（仟股）	70,000	70,000	70,000
額定股本	$ 700,000	$ 700,000	$ 700,000
已發行且已收足股款之股數（仟股）	42,325	42,325	42,325
已發行股本	$ 423,250	$ 423,250	$ 423,250

(二) 資本公積

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
得用以彌補虧損、發放現金或撥充股本（註）			
股票發行溢價	$ 49,587	$ 49,587	$ 49,587
實際取得或處分子公司股權價格與帳面價值差額	8,615	8,615	8,615
庫藏股票交易	1,325	1,325	1,325
合併溢價	27	27	27
僅得用以彌補虧損			
處分資產增益	66	66	66
行使歸入權	14	14	14
不得作為任何用途			
發行可轉債公司債認列權益組成部分	26,317	-	-
	$ 85,951	$ 59,634	$ 59,634

註：此類資本公積得用以彌補虧損，亦得於公司無虧損時，用以發放現金或撥充股本，惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。

(三) 保留盈餘及股利政策

依本公司章程之盈餘分派政策規定，本公司年度決算如有盈餘，應先提繳稅款、彌補累積虧損，次提 10%為法定盈餘公積，但法定盈餘公積已達公司實收資本額時，得不再提列，其餘再依法令規定提列或迴轉特別盈餘公積。如尚有盈餘，加計上年度未分配盈餘為累積可供分配盈餘，由董事會擬具盈餘分派議案，提請股東會決議分派。董事會依據公司實際經營及現金需求狀況擬具分派議案。決定分派盈餘時，可採現金股利與股票股利搭配方式，且現金部分所佔比例不得少於 20%。

法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額 25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。

本公司依金管證發字第 1090150022 號令及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」規定提列及迴轉特別盈餘公積。

本公司分別於 115 年及 114 年 6 月股東常會決議通過 114 及 113 年度之盈餘分配案如下：

	114 年度	113 年度
法定盈餘公積	$ 9,074	$ 8,893
迴轉特別盈餘公積	(497)	(2,765)
現金股利	63,487	55,022
每股現金股利（元）	1.5	1.3

二一、營業收入

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
客戶合約收入				
商品銷貨收入	$ 415,125	$ 226,904	$ 990,054	$ 668,270
勞務收入	110,828	113,355	343,059	348,973
	$ 525,953	$ 340,259	$1,333,113	$1,017,243

(一) 合約餘額

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日	114年1月1日
應收票據	$ 49,508	$ 51,787	$ 70,313	$ 66,921
應收帳款	414,053	207,947	218,020	294,792
	$ 463,561	$ 259,734	$ 288,333	$ 361,713

（接次頁）

（承前頁）

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日	114年1月1日
合約資產				
勞務收入	$ 2,819	$ 2,922	$ 2,959	$ 3,410
減：備抵損失	-	-	-	-
合約資產－流動	$ 2,819	$ 2,922	$ 2,959	$ 3,410
合約負債				
商品銷貨收入	$ 2,738	$ 2,848	$ 348	$ 5,738

合併公司按存續期間預期信用損失認列合約資產之備抵損失。合約資產將於開立帳單時轉列為應收帳款，其信用風險特性與同類合約產生之應收帳款相同，故合併公司認為應收帳款之預期信用損失率亦可適用於合約資產。

合約資產及合約負債之變動主要係來自滿足履約義務之時點與客戶付款時點之差異。

(二) 合約成本相關資產

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
流　　動			
履行合約成本	$ 110,437	$ 37,713	$ 29,723

係合併公司為提供勞務收入而投入之管件及相關安裝人力資本化之履行合約成本。

二二、本期淨利

(一) 員工福利費用、折舊及攤銷費用

性質別	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
115年7月1日至9月30日			
員工福利費用			
薪資費用	$ 107,723	$ 25,109	$ 132,832
退職後福利			
確定提撥計畫	4,548	483	5,031
確定福利計畫	115	39	154
其他員工福利	17,285	2,741	20,026
折舊費用	9,416	2,504	11,920
攤銷費用	-	61	61

性質別	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
114年7月1日至9月30日			
員工福利費用			
薪資費用	$ 97,257	$ 19,693	$ 116,950
退職後福利			
確定提撥計畫	4,277	490	4,767
確定福利計畫	45	16	61
其他員工福利	16,360	2,302	18,662
折舊費用	9,157	1,499	10,656
攤銷費用	-	45	45
115年1月1日至9月30日			
員工福利費用			
薪資費用	307,047	66,306	373,353
退職後福利			
確定提撥計畫	13,568	1,518	15,086
確定福利計畫	340	122	462
其他員工福利	50,726	8,473	59,199
折舊費用	28,310	6,076	34,386
攤銷費用	-	179	179
114年1月1日至9月30日			
員工福利費用			
薪資費用	292,708	52,033	344,741
退職後福利			
確定提撥計畫	12,913	1,346	14,259
確定福利計畫	142	41	183
其他員工福利	48,481	6,803	55,284
折舊費用	28,840	4,772	33,612
攤銷費用	-	187	187

(二) 員工酬勞及董事酬勞

本公司依章程規定係按當年度扣除分派員工酬勞及董事酬勞前之稅前利益分別以不低於 2%及不超過 3%提撥員工酬勞及董事酬勞。依 113 年 8 月證券交易法之修正，本公司已於 114 年 6 月股東常會決議通過修正章程，訂明以當年度提撥員工酬勞數額之 5%為基層員工酬勞。115 年及 114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日估列之員工酬勞（含基層員工酬勞）及董事酬勞如下：

	115年1月1日 至9月30日	114年1月1日 至9月30日
估列比例		
員工酬勞	3.18%	3.74%
董事酬勞	0.79%	0.9%

	115年7月1日 至9月30日	114年7月1日 至9月30日	115年1月1日 至9月30日	114年1月1日 至9月30日
金　　額				
員工酬勞	$ 3,341	$ 1,900	$ 6,799	$ 3,528
董事酬勞	$ 731	$ 413	$ 1,686	$ 847

年度合併財務報告通過日後若金額仍有變動，則依會計估計值變動處理，於次一年度調整入帳。

本公司於 115 及 114 年 3 月舉行董事會，分別決議通過 114 及 113 年度員工酬勞及董事酬勞如下：

現　　金	114 年度	113 年度
員工酬勞	$ 7,470	$ 5,535
董事酬勞	1,350	1,200

114 及 113 年度員工酬勞及董監事酬勞之實際配發金額與 114 及 113 年度合併財務報告認列之金額並無差異。

有關本公司董事會決議之員工酬勞及董監事酬勞資訊，請至台灣證券交易所「公開資訊觀測站」查詢。

二三、所得稅

(一) 認列於損益之所得稅

所得稅費用之主要組成項目如下：

	115年7月1日 至9月30日	114年7月1日 至9月30日	115年1月1日 至9月30日	114年1月1日 至9月30日
當期所得稅				
本期產生者	$ 21,350	$ 6,165	$ 42,606	$ 19,838
未分配盈餘加徵	-	27	944	1,416
以前年度之調整	-	-	(353)	(251)
	21,350	6,192	43,197	21,003
遞延所得稅				
本期產生者	17	(54)	(1,167)	(961)
認列於損益之所得稅費用	$ 21,367	$ 6,138	$ 42,030	$ 20,042

(二) 所得稅核定情形

本公司及大川研公司截至 113 年度止之營利事業所得稅結算申報案件，業經稅捐稽徵機關核定。

二四、每股盈餘

	淨利	股數（仟股）	每股盈餘(元)
115 年 7 月 1 日至 9 月 30 日			
基本每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 86,139	42,325	$ 2.04
具稀釋作用潛在普通股之影響			
員工酬勞		34	
可轉換公司債	(3,975)	1,323	
稀釋每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利加潛在普通股之影響	$ 82,164	43,682	$ 1.88
114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日			
基本每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 24,316	42,325	$ 0.58
具稀釋作用潛在普通股之影響			
員工酬勞	-	124	
稀釋每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利加潛在普通股之影響	$ 24,316	42,449	$ 0.57
115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日			
基本每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 164,959	42,325	$ 3.90
具稀釋作用潛在普通股之影響			
員工酬勞	-	94	
可轉換公司債	(3,975)	446	
稀釋每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利加潛在普通股之影響	$ 160,984	42,865	$ 3.76
114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日			
基本每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 72,628	42,325	$ 1.72
具稀釋作用潛在普通股之影響			
員工酬勞	-	173	
稀釋每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利加潛在普通股之影響	$ 72,628	42,498	$ 1.71

若合併公司得選擇以股票或現金發放員工酬勞，則計算稀釋每股盈餘時，假設員工酬勞將採發放股票方式，並於該潛在普通股具有稀釋作用時計入加權平均流通在外股數，以計算稀釋每股盈餘。於次年度決議員工酬勞發放股數前計算稀釋每股盈餘時，亦繼續考量該等潛在普通股之稀釋作用。

二五、與非控制權益之權益交易

合併公司於 114 年 4 月未按持股比例認購大川研公司之現金增資，致持股比例由 98%減少至 66.68%，由於上述交易並未改變合併公司對該等子公司之控制，合併公司係視為權益交易處理。

	大川研公司
給付之現金對價	$ -
子公司淨資產帳面金額按相對權益變動計算應轉入非控制權益之金額	7,645
權益交易差額	$ 7,645
權益交易差額調整科目	
資本公積－認列對子公司所有權權益變動數	($ 403)
未分配盈餘	(7,242)
	($ 7,645)

二六、現金流量資訊

來自籌資活動之負債變動：

	期初餘額	現金流量	非現金之變動 新增租賃	淨兌換差額	其他	期末餘額
115年1月1日至9月30日						
短期銀行借款	$ 30,000	$ 20,000	$ -	$ -	$ -	$ 50,000
長期銀行借款	197,716	(197,716)	-	-	-	-
租賃負債	30,923	(6,976)	6,860	316	59	31,182
應付公司債	-	494,704	-	-	(27,765)	466,939
	$258,639	$310,012	$ 6,860	$ 316	($ 27,706)	$548,121
114年1月1日至9月30日						
短期銀行借款	$ 50,000	($ 20,000)	$ -	$ -	$ -	$ 30,000
長期銀行借款	229,675	(15,948)	-	-	-	213,727
租賃負債	36,904	(6,388)	1,249	(316)	74	31,523
	$316,579	($ 42,336)	$ 1,249	($ 316)	$ 74	$275,250

二七、資本風險管理

合併公司進行資本管理以確保集團內各企業能夠於繼續經營之前提下，藉由將債務及權益餘額最適化，以使股東報酬極大化。

合併公司資本結構係由合併公司之淨債務（即借款減除現金）及權益（即普通股股本、資本公積、保留盈餘、其他權益項目及非控制權益）組成。

合併公司主要管理階層每季重新檢視集團資本結構，其檢視內容包括考量各類資本之成本及相關風險。合併公司依據主要管理階層之建議，將藉由支付股利、發行新股、買回股份及發行新債或償付舊債等方式平衡其整體資本結構。

二八、金融工具

(一) 公允價值資訊－非按公允價值衡量之金融工具

金融資產及金融負債之公允價值係依下列方式決定：

(1) 短期金融商品以其在資產負債表上之帳面價值估計其公允價值，因此類商品到期日甚近或未來收付價格與帳面金額相近，其帳面價值應屬估計公允價值之合理基礎。此方法應用於現金、按攤銷後成本衡量之金融資產、應收付票據及帳款、其他應收款、存出保證金、短期銀行借款、應付公司債暨其他應付款。

(2) 長期銀行借款（含 1 年內到期）以其未來現金流量之折現值估計公允價值。合併公司之長期銀行借款利率屬浮動利率者，其帳面價值即為公允價值。

(二) 公允價值資訊－以重複性基礎按公允價值衡量之金融工具

1. 公允價值層級

下表提供金融工具於原始認列後以公允價值衡量方式之分析，衡量方式係基於公允價值可觀察之程度分為第 1 至 3 等級。

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合　　計
115 年 9 月 30 日				
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
國外上市股票	$ 6,928	$ -	$ -	$ 6,928
國內未上市櫃股票	-	-	2,249	2,249
	$ 6,928	$ -	$ 2,249	$ 9,177
115 年 9 月 30 日				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
國內可轉換公司債之贖回權及賣回權	$ -	$ -	$ 2,500	$ 2,500
114 年 12 月 31 日				
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
國外上市股票	$ 6,310	$ -	$ -	$ 6,310
國內未上市櫃股票	-	-	2,303	2,303
	$ 6,310	$ -	$ 2,303	$ 8,613
114 年 9 月 30 日				
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
國外上市股票	$ 6,648	$ -	$ -	$ 6,648
國內未上市櫃股票	-	-	2,380	2,380
	$ 6,648	$ -	$ 2,380	$ 9,028

115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日無第 1 等級與第 2 等級公允價值衡量間移轉之情形。

2. 金融工具以第 3 等級公允價值衡量之調節

金　融　資　產	透過損益按公允價值衡量	透過其他綜合損益按公允價值衡量	合　　計
115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日			
期初餘額	$ -	$ 2,303	$ 2,303
新　增	(2,050)	-	(2,050)
認列於損益	4,550	-	4,550
認列於其他綜合損益	-	(54)	(54)
期末餘額	$ 2,500	$ 2,249	$ 4,749

金融資產	透過損益按公允價值衡量	透過其他綜合損益按公允價值衡量	合計
114年1月1日至9月30日			
期初餘額	$ -	$ 2,433	$ 2,433
認列於其他綜合損益	-	(53)	(53)
期末餘額	$ -	$ 2,380	$ 2,380

3. 第3等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

金融工具類別	評價技術及輸入值
國內可轉換公司債之贖回權及賣回權	二元樹可轉債評價模型評估，依股價波動度、無風險利率、風險折現率、流動性風險及剩餘年限期數評估而得。
國內未上市櫃股票	國內未上市櫃權益投資係以資產法估計公允價值。資產法主要係參考其淨資產價值以評估其公允價值。

(三) 金融工具之種類

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
金融資產			
透過損益按公允價值衡量之金融資產	$ 2,500	$ -	$ -
按攤銷後成本衡量之金融資產（註1）	1,123,807	703,149	643,516
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－權益工具	9,177	8,613	9,028
金融負債			
按攤銷後成本衡量（註2）	865,332	400,342	373,741

註1：餘額係包含現金、原始到期日超過3個月之定期存款、應收票據、應收帳款、其他應收款及存出保證金等按攤銷後成本衡量之金融資產。

註2：餘額係包含短期銀行借款、應付票據、應付帳款、其他應付款、應付公司債及長期銀行借款（含1年內到期）等按攤銷後成本衡量之金融負債。

(四) 財務風險管理目的與政策

合併公司主要金融工具包括權益投資、應收帳款、應付帳款、應付公司債、銀行借款及租賃負債。合併公司之財務管理部門係為各業務單位提供服務，統籌協調進入金融市場操作，藉由依照風險程度與廣度分析暴險之內部風險報告監督及管理合併公司營運有關之財務風險。該等風險包括市場風險、信用風險及流動性風險。

1. 市場風險

合併公司之營運活動使合併公司承擔之主要財務風險為利率變動風險及匯率變動風險。

(1) 利率變動

合併公司之利率風險主要來自固定及浮動利率之存款、借款、應付公司債及租賃負債而產生利率暴險，於資產負債表日受利率暴險之金融資產及金融負債帳面金額如下：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
具公允價值利率風險			
金融資產	$ 720	$ 720	$ 720
金融負債	548,121	60,923	61,523
具現金流量利率風險			
金融資產	634,341	432,744	344,059
金融負債	-	197,716	213,727

合併公司基於穩健保守之財務管理原則，利率方面係多方參考國內外各經濟研究機構及銀行研究報告，以掌握利率之未來走向，並與往來銀行密切聯繫，隨時掌握利率變化，以調整公司之融資政策。

敏感度分析

合併公司對於浮動利率之金融資產及金融負債，當利率變動 0.25%時，在其他條件維持不變之情況下，合併公司 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將分別變動 1,189 仟元及 244 仟元。集團內部向主要管理階層報告

利率時所使用之變動率為利率 0.25%，此亦代表管理階層對利率風險之合理可能變動範圍之評估。

(2) 匯率變動

合併公司進銷貨部份係以美金、日圓及人民幣為計價單位，公平價值將隨市場匯率波動而改變。合併公司與主要往來銀行保持密切聯繫，積極蒐集匯率市場變化資訊，以因應匯率變動風險，並於外匯銀行開立外幣帳戶，視實際資金需求及匯率高低，於適當時機兌換為需要之貨幣；或以外幣資產及負債互抵，以減少外匯淨暴險之部位，且向銀行爭取較優惠之匯率，同時對客戶做產品報價時亦一併考量匯兌風險。

合併公司於資產負債表日非功能性貨幣計價之貨幣性資產與貨幣性負債帳面金額，參閱附註三二。

合併公司敏感度分析僅包括流通在外之外幣貨幣性項目，並將其年底之換算以功能性貨幣匯率相對於各外幣升值 1%時，將使稅前淨利減少之金額；匯率貶值 1%時，其對稅前淨利之影響將為相同金額之負數。

貨幣種類	115年1月1日 至9月30日	114年1月1日 至9月30日
美金	$ 1,589	$ 598
日圓	329	172
人民幣	72	162

2. 信用風險

信用風險係指交易對方拖欠合約義務而造成集團財務損失之風險。截至資產負債表日，合併公司可能因交易對方未履行義務造成財務損失之最大信用風險暴險，主要係來自於合併資產負債表所認列之金融資產帳面金額。

合併公司之信用風險主要係集中於部分客戶，截至 115 年 9 月 30 日暨 114 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，應收帳款總額來自前述客戶之比率分別為 65%、44%及 46%。合併公司使用其他公開可取得之財務資訊及彼此交易記錄對主要客戶進行評

等，持續監督信用暴險以及交易對方之信用評等，並將總交易金額分散至各信用評等合格之客戶，並透過每年由管理階層複核及核准之交易對方信用額度限額以控制信用暴險。

3. 流動性風險

合併公司建立適當之流動性風險管理架構，以因應短期、中期及長期之籌資與流動性之管理需求。合併公司透過維持足夠之準備、銀行融資額度及取具借款承諾、持續地監督預計與實際現金流量，以及使金融資產及負債之到期組合配合，藉以管理流動性風險。截至115年9月30日暨114年12月31日及9月30日合併公司未動用之銀行及發行商業本票融資額度分別為310,000仟元、250,000仟元及250,000仟元。

下列流動性及利率風險表係說明合併公司已約定還款期間之非衍生金融負債剩餘合約到期分析，係依據合併公司最早可能被要求還款之日期，並以金融負債未折現現金流量編製，其包括利息及本金之現金流量。

非衍生金融負債	3個月內	3個月至1年	1至5年	5年以上
115年9月30日				
無附息負債	$ 348,393	$ -	$ -	$ -
租賃負債	5,249	8,558	17,993	-
固定利率工具	-	50,321	500,000	-
	$ 353,642	$ 58,879	$ 517,993	$ -
114年12月31日				
無附息負債	$ 172,626	$ -	$ -	$ -
租賃負債	2,420	7,222	22,135	-
固定利率工具	30,018	-	-	-
浮動利率工具	14,106	43,564	146,889	-
	$ 219,170	$ 50,786	$ 169,024	$ -
114年9月30日				
無附息負債	$ 130,014	$ -	$ -	$ -
租賃負債	4,338	6,389	21,675	-
固定利率工具	-	30,134	-	-
浮動利率工具	17,212	43,035	161,528	-
	$ 151,564	$ 79,558	$ 183,203	$ -

(五) 金融資產移轉資訊

於 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，合併公司將部分大陸地區非由信用等級較高之銀行承兌之應收銀行承兌匯票背書轉讓予供應商以支付貨款金額為 2,518 仟元。合約約定，若應收銀行承兌匯票到期時無法收回，受讓人有權要求合併公司支付未結清餘額。是以合併公司並未移轉該應收銀行承兌匯票之重大風險及報酬，合併公司持續認列該應收銀行承兌匯票。

截至 114 年 12 月 31 日止，未除列之已移轉應收銀行承兌匯票之帳面金額為 764 仟元及相關負債之帳面金額為 764 仟元。

於 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，合併公司將部分大陸地區由信用等級較高之銀行承兌之應收銀行承兌匯票背書轉讓予供應商以支付應付帳款，由於該等票據之幾乎所有風險及報酬已移轉，合併公司除列所移轉之應收銀行承兌匯票及相應之應付帳款。惟若該等已除列銀行承兌匯票到期時未能兌現，供應商仍有權要求合併公司清償，故合併公司仍持續參與該等票據。

合併公司持續參與已除列銀行承兌匯票之最大損失暴險金額為已移轉而尚未到期之銀行承兌匯票面額，截至 115 年 9 月 30 日暨 114 年 12 月 31 日止分別為 16,794 仟元及 1,484 仟元，該等票據將分別於資產負債表日後 1 至 6 個月及 1 至 3 個月到期。考量已除列銀行承兌匯票之信用風險，合併公司評估其持續參與之公允價值並不重大。

於 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，合併公司於移轉應收銀行承兌匯票時並未認列任何損益，持續參與該等票據於本期及累積均未認列任何損益。

二九、關係人交易

合併公司間之交易、帳戶餘額、收益及費損於合併時全數予以銷除，故未揭露於本附註。除已於其他財務附註說明者外，與其他關係人間之關係及交易如下：

(一) 關係人名稱及其關係

關係人名稱	與合併公司之關係
大甲詠恩股份有限公司（大甲詠恩公司）	其他關係人（該公司董事長為本公司之董事長）

(二) 承租協議

帳列項目	關係人名稱	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
租賃負債	大甲詠恩公司	$ 17,136	$ 20,973	$ 22,242

關係人名稱	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
財務成本				
大甲詠恩公司	$ 67	$ 85	$ 214	$ 271
租賃費用				
大甲詠恩公司	$ 171	$ 171	$ 514	$ 514

主要係承租土地及建築物，租金係參考鄰近廠房之市價及所承租之面積由雙方議定，每3個月支付一次；租賃存出保證金115年9月30日暨114年12月31日及9月30日均為700仟元。

(三) 主要管理階層薪酬

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
短期員工福利	$ 7,430	$ 5,559	$ 18,021	$ 13,365
退職後福利	71	72	214	216
	$ 7,501	$ 5,631	$ 18,235	$ 13,581

董事及其他主要管理階層之薪酬係由薪酬委員會依照個人績效及市場趨勢決定。

三十、質抵押之資產

下列資產業已提供作為銀行借款與履約保證之擔保品：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
不動產、廠房及設備	$ 240,694	$ 242,759	$ 243,447
按攤銷後成本衡量之金融資產－流動	720	720	720
	$ 241,414	$ 243,479	$ 244,167

三一、重大或有負債及未認列之合約承諾

未認列之合約承諾	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
購置不動產、廠房及設備	$ 5,171	$ 9,081	$ 18,618

三二、具重大影響之外幣資產及負債資訊

以下資訊係按合併公司各個體功能性貨幣以外之外幣彙總表達，所揭露之匯率係指該等外幣換算至功能性貨幣之匯率。具重大影響之外幣資產及負債如下：

	115年9月30日		
外幣資產	外幣	匯率	帳面金額
貨幣性項目			
美金	$ 4,777	31.850（美金：新台幣）	$ 152,130
美金	213	6.7081（美金：人民幣）	6,772
日圓	162,300	0.2030（日圓：新台幣）	32,947
人民幣	1,518	4.748（人民幣：新台幣）	7,207

	114年12月31日		
外幣資產	外幣	匯率	帳面金額
貨幣性項目			
美金	$ 2,363	31.430（美金：新台幣）	$ 74,279
美金	213	6.991（美金：人民幣）	6,682
日圓	163,565	0.2008（日圓：新台幣）	32,844
人民幣	2,630	4.496（人民幣：新台幣）	11,826
外幣負債			
貨幣性項目			
日圓	2,297	0.2008（日圓：新台幣）	461

	114 年 9 月 30 日		
外幣資產	外幣	匯率	帳面金額
貨幣性項目			
美金	$ 1,751	30.445（美金：新台幣）	$ 53,305
美金	212	7.1283（美金：人民幣）	6,472
日圓	83,357	0.2058（日圓：新台幣）	17,155
人民幣	3,799	4.271（人民幣：新台幣）	16,225

具重大影響之外幣未實現兌換損益如下：

	115 年 7 月 1 日至 9 月 30 日		114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日	
外幣	匯率	淨兌換（損）益	匯率	淨兌換（損）益
美金	31.989（美金：新台幣）	($ 566)	29.95（美金：新台幣）	$ 2,818
日圓	0.2010（日圓：新台幣）	999	0.2031（日圓：新台幣）	6,148
人民幣	4.744（人民幣：新台幣）	73	4.184（人民幣：新台幣）	1,013
		$ 506		$ 9,979

	115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日		114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日	
外幣	匯率	淨兌換（損）益	匯率	淨兌換（損）益
美金	31.739（美金：新台幣）	($ 590)	31.222（美金：新台幣）	($ 4,568)
日圓	0.2003（日圓：新台幣）	894	0.2108（日圓：新台幣）	(115)
人民幣	4.652（人民幣：新台幣）	1,286	4.318（人民幣：新台幣）	(380)
		$ 1,590		($ 5,063)

三三、附註揭露事項

(一) 重大交易事項相關資訊：

1. 資金貸與他人：無。
2. 為他人背書保證：附表一。
3. 期末持有之重大有價證券（不包含投資子公司及關聯企業）：附表二。
4. 與關係人進、銷貨之金額達新臺幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
5. 應收關係人款項達新臺幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
6. 其他：母子公司間及各子公司間之業務關係及重大交易往來情形及金額：附表三。

(二) 轉投資事業相關資訊：附表四。

(三) 大陸投資資訊：

1. 大陸被投資公司名稱、主要營業項目、實收資本額、投資方式、資金匯出入情形、持股比例、投資損益、期末投資帳面金額、已匯回投資損益及赴大陸地區投資限額：附表五。
2. 與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生下列之重大交易事項，及其價格、付款條件、未實現損益：
   (1) 進貨金額及百分比與相關應付款項之期末餘額及百分比：無。
   (2) 銷貨金額及百分比與相關應收款項之期末餘額及百分比：無。
   (3) 財產交易金額及其所產生之損益數額：無。
   (4) 票據背書保證或提供擔保品之期末餘額及其目的：無。
   (5) 資金融通之最高餘額、期末餘額、利率區間及當期利息總額：無。
   (6) 其他對當期損益或財務狀況有重大影響之交易事項，如勞務之提供或收受等：無。

三四、部門資訊

合併公司主要經營金屬管配件之製造及買賣，依 IFRS 8「營運部門」評估，係屬單一營運部門。

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

為他人背書保證

民國 115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表一

單位：新台幣仟元

編號	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額（註二）	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	背書保證以財產設定擔保金額	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率（%）	背書保證最高限額（註三）	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證
		公司名稱	關係										
0	本公司	大川研公司	（註一）	$ 239,669	$ 100,000	$ 50,000	$ -	$ -	4	$ 599,173	Y	—	—

註一：參閱附註十二。

註二：本公司對單一聯屬企業以不超過本公司淨值之 20%為限，惟合計數仍不得超過背書保證總額之限額。

註三：本公司對聯屬企業背書保證之總額以不超過本公司淨值之 50%為限。

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

期末持有之重大有價證券

民國 115 年 9 月 30 日

附表二

單位：新台幣仟元

持有之公司	有價證券種類及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末				備註
				股數	帳面金額	持股比例	市價	
	股票							
本公司	ANNAIK LIMITED	—	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動	600,000	$ 793	-	$ 793	
	MIE CORP CO LTD	—	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動	17,200	6,135	-	6,135	
	堂庭公司	—	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動	660,000	2,249	13	2,249	

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

母子公司間及各子公司間之業務關係及重大交易往來情形及金額

民國 115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表三

單位：新台幣仟元

編號	交易人名稱	交易往來對象（註一）	與交易人之關係（註二）	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率（%）
0	本公司	大川研公司	(1)	銷貨收入	$ 6,290	T/T 90 天	-
			(1)	應收帳款	2,791	T/T 90 天	-
			(1)	進貨	30,583	T/T 90 天	2
			(1)	預付款項	10,295	—	-
			(1)	預付投資款	5,460	—	-

註一：業已沖銷。

註二：與交易人之關係：(1)母公司對子公司；(2)子公司對母公司。

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

被投資公司資訊、所在地區等相關資訊

民國 115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表四

單位：新台幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱（註）	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期（損）益	本期認列之投資（損）益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率（%）	帳面金額			
本公司	大川研公司	台灣省新竹市	經營精密儀器之經銷業務	$ 72,800	$ 72,800	15,401,925	66.68	$ 193,306	$ 7,323	$ 5,305	子公司
	MATE	英屬維京群島	貿易進出口業務	62,158	62,158	1,500,000	100	50,180	(5,923)	(5,923)	子公司

註：子公司業已沖銷。

大甲永和機械工業股份有限公司及子公司

大陸投資資訊

民國 115 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表五

單位：新台幣或外幣仟元

大陸被投資公司名稱（註四）	主要營業項目	實收資本額	投資方式	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期（損）益	本公司直接或間接投資之持股比例（%）	本期認列投資（損）益（註二）	期末投資帳面價值	截至本期期末止已匯回台灣之投資收益
					匯出	收回						
安徽大甲公司	管材及配件、閥門之生產與銷售	$ 61,620 (人民幣 13,407)	（註一）	$ 61,620 (美金 2,000)	$ -	$ -	$ 61,620 (美金 2,000)	($ 5,847)	100	($ 5,847)	$ 47,938	$ -

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額（註三）
$ 61,620 (美金2,000)	$ 61,620 (美金2,000)	$ 777,236

註一：係透過轉投資第三地區現有公司再投資大陸公司。

註二：本期認列之投資損失，係按未經會計師核閱之同期間財務報表計算。

註三：係依據投審會「在大陸地區從事投資或技術合作審查原則」規定計算之限額。

註四：業已沖銷。